TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝ストレートダクトファン
取付・取扱説明書

形名

消音耐湿形

単相100V

DVS-40SY2
DVS-50SY2
DVS-100SY2
DVS-150SY2

厨房形

三相200V

DVS-150TX
DVS-210TX
DVS-300TX
DVS-550TX

もくじ

安全上のご注意……2～3
外形寸法……4
取付方法……5～8
試運転……9
保守点検……10
使いかた……11
お手入れのしかた……11
仕　様……11
修理を依頼される前に……12
ご不明な点や修理に関するご相談は…12

- このたびは、東芝ストレートダクトファンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- この取扱説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- お読みになったあとはいつも手元に置いてご使用ください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠ 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(＊2)を負うことが想定されるか、または物的損害(＊3)の発生が想定されること"を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。
強制	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

定格電圧以外では使用しない
火災・感電の原因になります。
（定格電圧使用）

水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない
漏電により、火災・感電の原因になります。
（水かけ禁止）

ガス湯沸器や給湯器などの燃焼器具用排気ダクトには取り付けない
火災の原因になります。
（取付禁止）

内釜式風呂が設置された住宅では使わない
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因になります。
（取付禁止）

ぬれた手で操作しない
感電やけがの原因になります。
（ぬれ手禁止）

搬入・搬出に際しては、重心および重量に注意して行う
吊り上げ、持ち上げ、保持が不完全な場合は落下し、けがの原因になります。
（運搬注意）

アースは確実に取り付ける
故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。
※アースの取り付けは販売店または電気工事店を通じ電気工事士へ依頼してください。
（アースを接続する）

改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。
（改造禁止）

お手入れのときは、必ず壁スイッチを切り、分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因になります。
（ブレーカーを切る）

運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない
けがの原因になります。
（接触禁止）

爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れのある場所には取り付けない
爆発・火災の原因になります。
（取付禁止）

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける
漏電したとき、火災・感電の原因になります。
（接触禁止）

修理技術者以外の人は、分解・修理（※）をしない
火災・感電・けがの原因になります。
※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。
（分解・修理禁止）

煙突排気の燃焼器具をご使用のときは、空気の取入口により、十分給気される配慮をする
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因になります。
（給気を確実に）

異常・故障時にはすぐに使用を中止する
発煙・発火・感電の原因になります。
すぐに電源を切りお買い上げの販売店または、東芝エアコン空調換気ご相談センターに点検・修理を依頼してください。
〈異常・故障例〉
- スイッチを入れても羽根が回転しない
- 運転中に異常音や振動がする
- 回転が遅い、または不規則
- こげ臭いにおいがする

（使用を中止する）

開放の吸い込み口へは保護金網をつける
運転時、人や物が吸い込まれけがの原因になります。
（保護金網取付）

接続や組み付けのボルトなどはしっかりしめる
けがの原因になります。
（取付注意）

ガス漏れのときは、換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない
ガス爆発の原因になります。
（入り切り禁止）

⚠注意

異常発生時（音・振動・臭い）は直ちに運転を停止し、修理する 予期せぬ事故の原因になります。 修理依頼	吹き出し口や吸い込み口付近に障害物を置かない 予期せぬ事故の原因になります。 禁止
直接炎があたるおそれのある場所には取り付けない 火災の原因になります。 取付禁止	吹き出し口に目を向けない（特に起動時） ごみなどが飛んできて目に入ることがあります。 禁止
点検口のふたや部品の取り付けは確実に行う 落下により、けがをすることがあります。 取付注意	本体をねじったり、ダクトなどで過度の荷重が本体にかからないよう施工する 故障や落下によるけがの原因になります。 取付注意
浴室など湿気の多いところや水のかかるところでは使わない 感電や火災の原因になります。 使用禁止	定められた環境以外では使用しない 羽根の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。 使用禁止
ドレンは確実に排水する 水漏れ・油漏れ事故の原因になります。 取付注意	天吊りの場合、吊りボルトは規定の本数、ボルト径を使用する 足らない場合、落下しけがの原因になります。 取付注意
電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 誤った電気工事は火災や感電の原因になります。 取付注意	点検時、電源が切れていてもダクト内の風により、ファンが回転することがありますので、停止を確認してから行う 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。 接触禁止
長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。 ブレーカーを切る	浴室内には壁スイッチを取り付けない 火災・感電の原因になります。 取付禁止
本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下により、けがをする原因になります。 取付注意	
点検のときは、手袋やヘルメットなどの保護具を使う けがをする原因になります。 保護具を使う	

●取り付け前のお願い

規制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなければならないよう義務づけられていますので、２mの鋼板立上がりダクトを取り付ける（φ 150 以下の場合のみ）か、煙逆流防止ダンパーを取り付けて点検口を必ず設けてください。
- 配管用システム部材については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

お願い

- 製品の取付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には取り付けないでください。
  - ・40℃以上になる場所
  - ・0℃以下になる場所（氷結するおそれのある場所）
  - ・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
  - ・ほこりや油煙の多い場所
- 搬送空気温度は、耐湿タイプ０～40℃範囲，厨房用０～80℃範囲で使用してください。
- 湿度 98%以上の空気を製品内に通さない。（火災や感電の原因になります）
- 温泉・温水プールなど腐食性ガスが常時、湿潤している場所の排気には使用しないでください。
- 食品工場など高温蒸気が発生する場所の排気には使用しないでください。
- 厨房などの油煙の排気には必ずグリルフィルター（市販品）などによる油の除去を行ってください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつけ、先端にウェザーカバー（市販品）などを取り付けることをおすすめします。
- つぎのようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

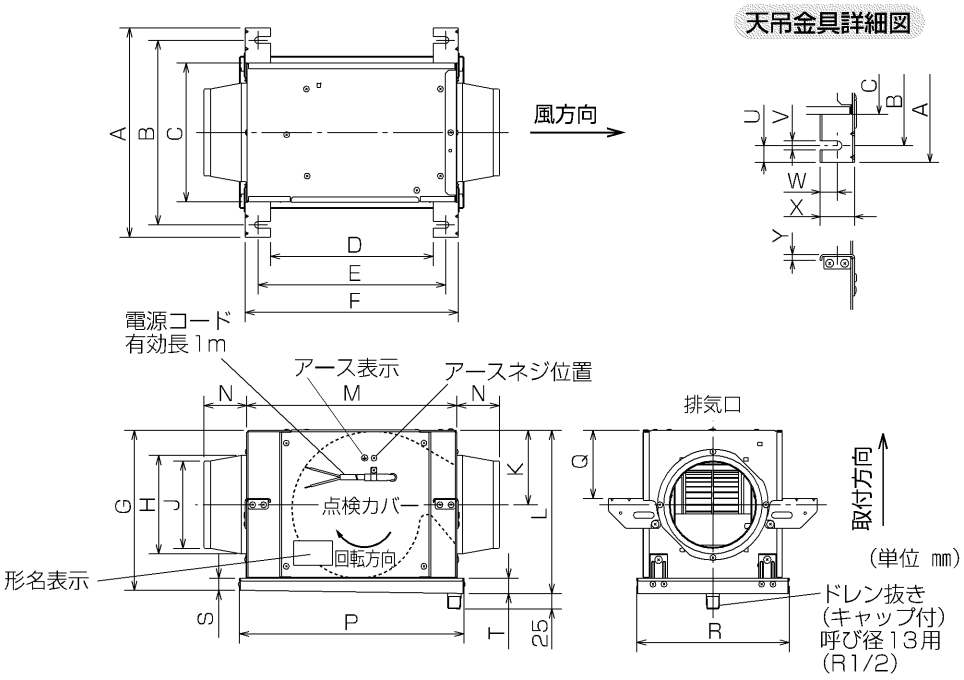
・極端な曲げ

・多数の曲げ（曲げ数が多くなれば風量低下します）

・排気口のすぐそばでの曲げ

・しぼり（接続ダクト径を極端に小さくする）

外形寸法



天吊金具詳細図

電源コード種類

消音耐湿形

ビニールキャブタイヤケーブル
2芯×0.75㎟

厨房形 (DVS-550TXを除く)

特殊耐熱ビニール
キャブタイヤケーブル
3芯×1.25㎟

※風方向は銘板に表示してあります。

※外観は機種により異なります。

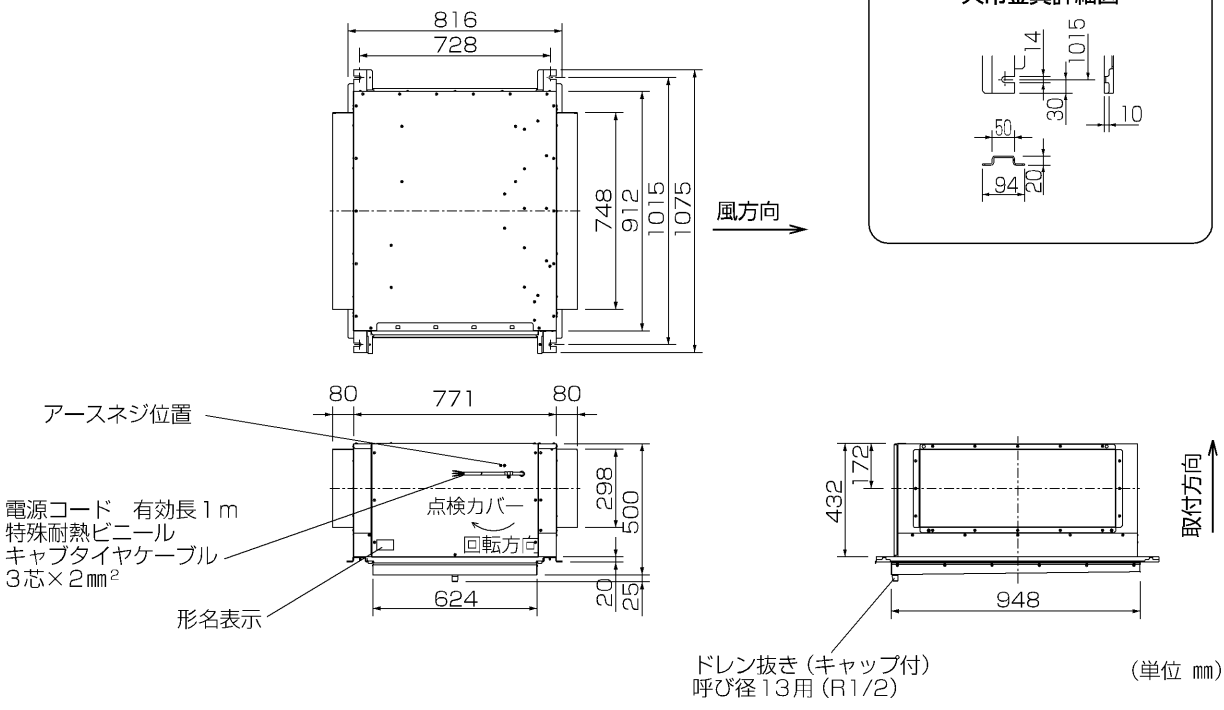
※DVS-300TXは角ダクトを使用しています。

■寸法表

単位 (mm)

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
DVS-40SY2	371	331	257	319	360	401	289	φ160	φ142	136	294	397	69	420	125	279							
DVS-50SY2	441	401	327	344	385	426	289	φ208	φ192	136	294	422	84	445	125	349							
DVS-100SY2	505	465	391	419	460	501	339	φ208	φ192	161	344	497	84	520	150	413	20	25	20	11	20	41	7
DVS-150SY2	521	481	407	489	530	571	369	φ258	φ243	176	374	567	84	591	166	429							
DVS-150TX	491	451	376	464	505	546	369	φ258	φ243	176	374	542	84	566	166	399							
DVS-210TX	541	501	426	519	560	601	369	φ308	φ292	176	374	597	99	621	166	449							
DVS-300TX	706	655	546	517	562	622	436	——	□298	207	446	614	80	640	204	587	25	35	25.5	13.5	22	52	8

厨房形 DVS-550TX



取付方法

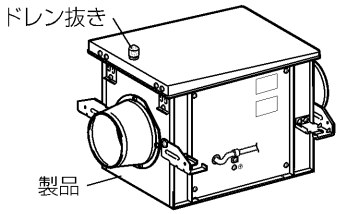
⚠注意

開梱の際は手袋を着用する
端面などでけがをする恐れがあります。

はじめに

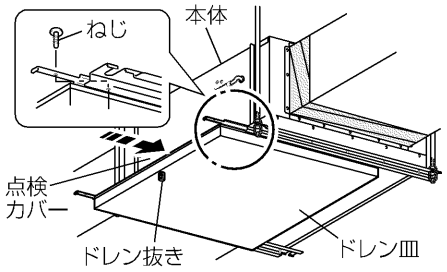
製品を包装箱より取出して置く場合、ドレン抜きに製品質量がかからないようにしてください。右図のような方法で行ってください。

製品を反対にして、床などの上に置きます。



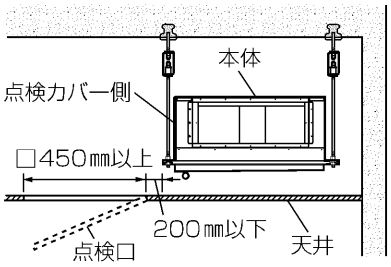
厨房形 DVS-550TXの場合

製品を吊った後にドレン皿を取付けてください。
（ドレン抜きが点検カバー側になるように取り付けてください）



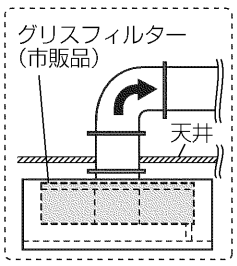
お願い

- 取り付け、運搬作業の際、衝撃を加えたり羽根に触れたりしない様に十分注意してください。羽根が変形しますとバランスがくるい、振動・異常音発生などの原因になります。
- 給気口側には羽根にほこり・油かすが付着しないように、フィルターのご使用をおすすめします。
（フィルターの選定には種類・メーカーにより圧力損失が異なり風量低下をまねくおそれがありますので十分注意してください。）
- 保守・点検ができる位置に 450 ㎜角以上の点検口を必ず設けてください。
※排気ダクト、ドレンパイプには下りこう配をつけてください。
- 製品本体と点検口の間には 200 ㎜以下の点検スペースを必ず設けてください。
（点検スペースがないと羽根モータを取出すことができません。）



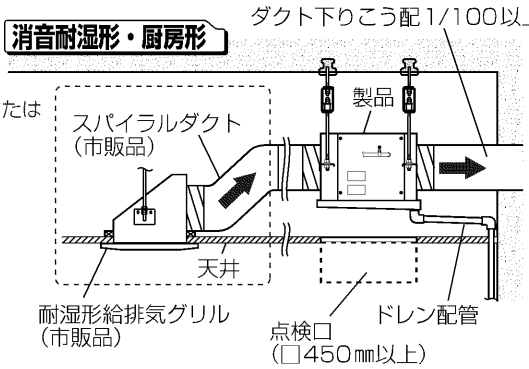
取付例

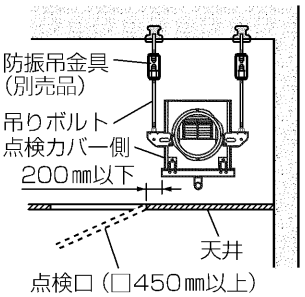
厨房形



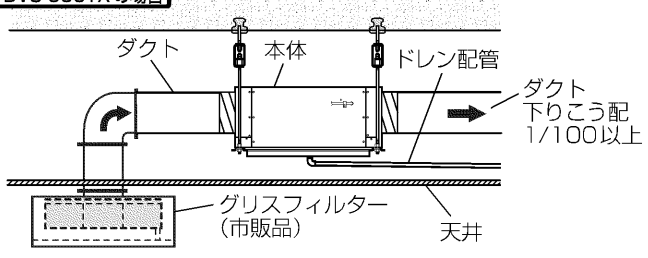
または

消音耐湿形・厨房形

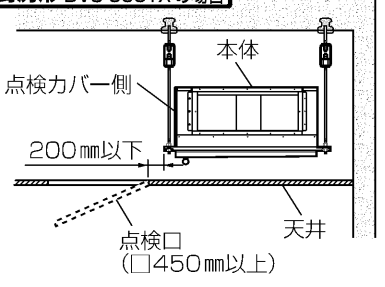




厨房形 DVS-550TXの場合

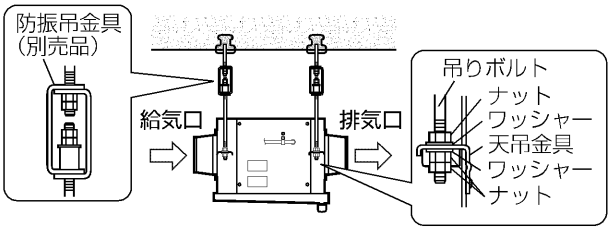


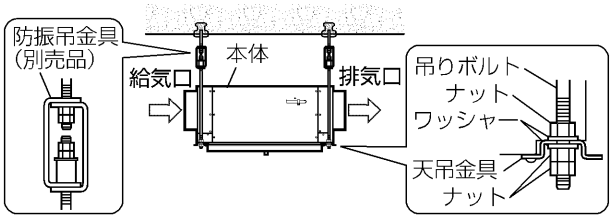
厨房形 DVS-550TXの場合



取付方法　つづき

製品の取り付け





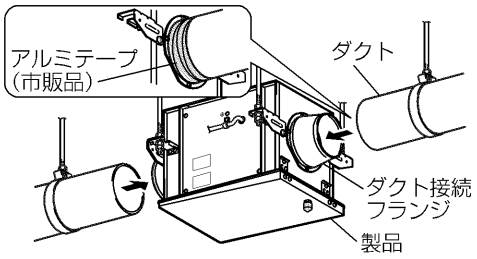
1 外形寸法図を参照し、強固な取付場所に市販の吊りボルトを埋込みます。(取付例参照)

2 製品が水平（1°以内）になるように製品を吊りボルトに取り付けます。
吊りボルトに合う寸法の市販のワッシャー・ナット(M10～M12)を使用し締め付けます。

- 製品表面に結露の恐れがある場合は、断熱処理を行ってください。

※ゆるみ防止のため、ダブルナットで確実に締め付けてください。

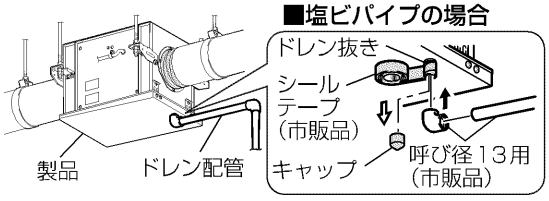
ダクト工事 共通



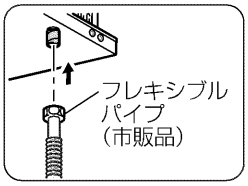
- 給気口側・排気口側ともダクト接続フランジにダクトをしっかり差し込み、市販品のリベットまたはねじなどで固定し、風漏れのないよう市販のアルミテープでテーピングしてください。
- ダクトは製品に力が加わらないよう天井より吊るしてください。
- 結露のおそれのある場合は断熱処理を行ってください。

ドレン抜き工事 共通

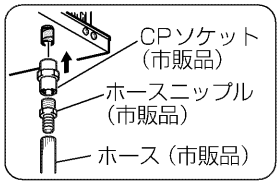
■塩ビパイプの場合



■金属パイプの場合



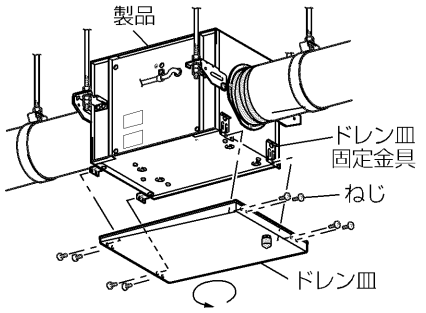
■ホースの場合



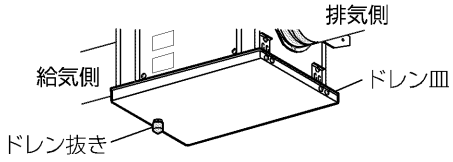
- 浴室など湿度の高い場所の換気（消音耐湿形）または、厨房など油煙の多い場所の換気（厨房形）を行う場合には、必ずドレン抜き工事を行ってください。
- 製品下面にあるドレン抜きのキャップをはずしてください。
- ドレン抜きのねじは呼びR1/2（呼び径13用）です。
- 市販の配管部材にて接続してください。（厨房用には必ず金属パイプを使用してください）
- 配管部材の固定の際、必ずシールテープ（市販品）にて接合部の防水処理を行ってください。
- ホース（市販品）を取り付けの際、ホースバンドにて必ず固定してください。

お願い
- ドレン抜きとの接続はねじ部に市販のシールテープを巻付けてから接続してください。
- パイプの端は、必ず処理可能なところまで導きドレン処理を確実に行ってください。
- 配管処理は、こう配をつけ水および油がたまらないように行ってください。
- ドレン配管に結露や凍結の恐れのある場合は、必ず断熱処理を実施してください。

排気側取付



給気側取付



ドレン配管方向を変更する場合

1 設置条件によりドレン配管方向を変えたい場合は、ドレン皿と製品を固定する金具（ドレン皿固定金具）の固定ねじ８本（ドレン皿側）をはずします。

2 はずしたドレン皿を180度回します。

3 必ずはずしたねじにて確実に締め付けて製品にドレン皿を固定します。
- ねじが確実に締め付けられていない場合は水漏れの原因となります。

※ DVS-550TXは構造の違いにより配管方向は変更できません。

お願い
- ドレン皿固定金具の製品側のねじは、はずさないようにしてください。ドレン皿固定金具でけがをする恐れがあります。
- 一般のねじは使用しないでください。腐食によりドレン皿の落下の恐れがあります。

取付方法　つづき

電気工事 共通

⚠警告

電源は定格電圧・定格周波数を使う
定格電圧・定格周波数以外の電源を使うと火災・感電の恐れがあります。

アースおよび漏電ブレーカーを確実に取り付ける
故障や漏電したとき。火災・感電の恐れがあります。

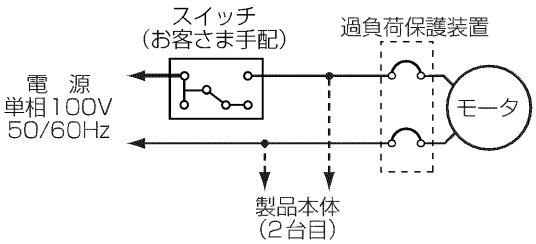
⚠注意

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って電気工事士が安全・確実に行う

電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する
接続不良や誤った配線工事は感電・火災の恐れがあります。

スイッチとの組合わせ

■ 耐湿形

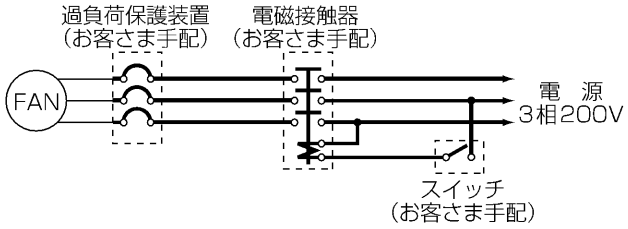


お願い

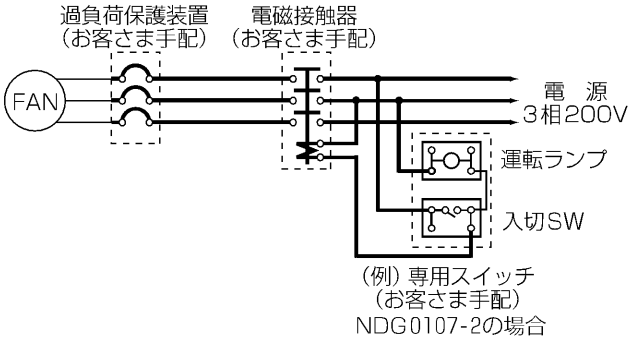
- 過負荷保護装置は必ず機器1台毎に取り付けてください。
- 電磁接触器の容量は個々のストレートダクトファンの起動電流以上で選定してください。

■ 厨房形

スイッチを使用しない場合



スイッチを使用する場合



お願い

- モータ焼損および配線回路保護のため配線系統にモータブレーカまたは電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）などの過負荷保護装置を使用してください。
  過負荷保護装置は必ず機器１台毎に取り付けてください。
  過負荷保護装置の選定は「仕様」の最大負荷電流の 1.2 ～ 1.5 倍程度を目安にしてください。
  ただし、製品本体に過負荷保護装置の定格表示があるものは、表示内容に従い過負荷保護装置を設置してください。
- スイッチの容量選定にあたっては起動電流×接続台数の容量としてください。
  また、電磁接触器を操作するスイッチ容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。
- 「入」・「切」運転する場合は、専用スイッチ（別売品）が必要です。結線は「電気工事」を参照してください。
  なお、３相製品は専用スイッチのみでは制御できません。必ず電磁接触器と組合わせて結線してください。
- ３相 200V 製品はダクト接続する前に必ず回転方向を確認してください。
  電源接続を間違えますと逆回転します。回転方向が逆の場合は３本の電源のうち２本を入換えてください。

試運転

取り付け、ダクト工事、電気工事終了後は、必ず試運転を行い、正常に運転できることを確認してください。

1．製品は確実に取り付けてありますか。
2．電源コードに傷・いたみはありませんか。
3．正しくアース工事はしてありますか。
4．異常な振動や騒音・風漏れはありませんか。
5．回転方向は逆ではありませんか。
（３相製品の場合、３本の電源のうち２本を入換える）
6．羽根は回転しますか、回転は遅くありませんか。
（回転しないか遅い場合は、結線が正しく行われているか確かめる）

保守点検

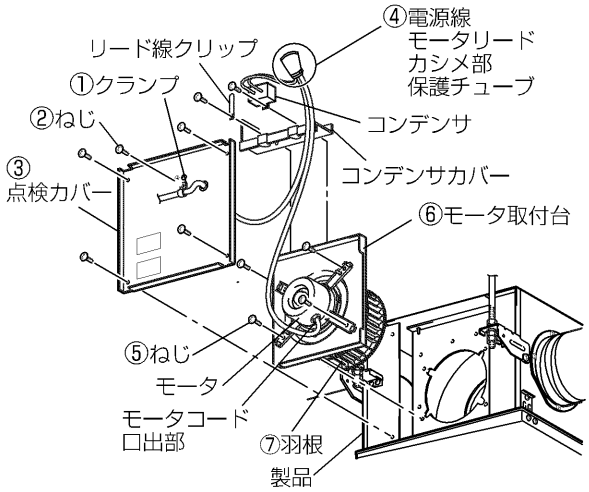
お願い ● 厨房形 ストレートダクトファンをご使用の場合は調理に用いる油がドレン皿・ドレンパイプに溜ることが想定されます。
そのまま放置されますと、異臭や水・油漏れの原因となりますので半年に一度を目度に点検をしてください。

⚠警告
保守点検の際は必ず分電盤ブレーカーを切ってから行う
感電・けがの恐れがあります。

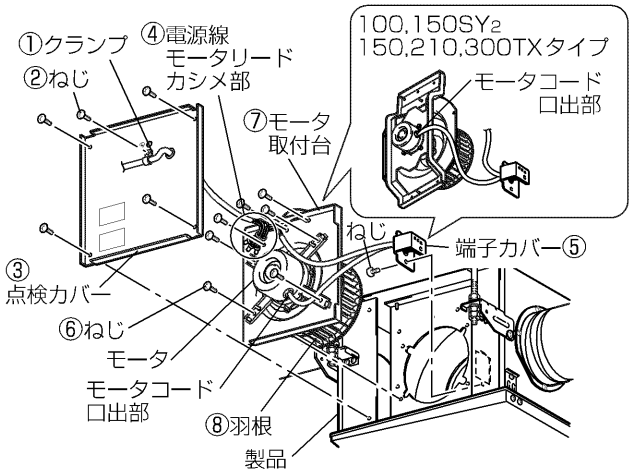
⚠注意
保守点検の際は手袋を着用する
端面などでけがの原因になります。

万一、モータや羽根に異常があった場合は次の手順で点検してください。

消音耐湿形 DVS-40SY2

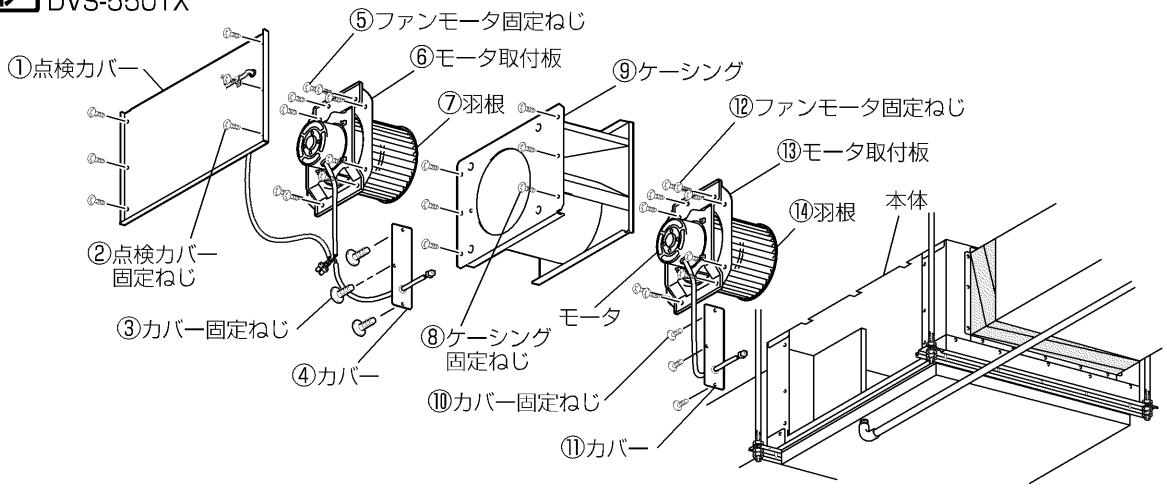


消音耐湿形 DVS-50SY2・100SY2・150SY2
厨房形 DVS-150TX・210TX・300TX



お願い
- モータリード線を無理に引っぱらないでください。
- モータは重いため、モータ・羽根に傷を付けないよう、またけがのないよう取扱いには十分注意してください。
- 点検終了後は耐湿性確保の為、モータコード口出部および電源線・モータリードカシメ部へ防水処置をしてください。

厨房形 DVS-550TX



清掃のしかた

■羽根、ドレン皿は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落とし、水で洗いよく乾かしてください。

■清掃後は中性洗剤を浸した布で汚れを拭き取り洗剤が残らないように乾いた布でよく拭き取ってください。

お願い ●お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤

使いかた

●システム部材の専用スイッチまたは市販の埋込スイッチで操作します。

使用上のお願い

給排気グリルにスプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用）を直接かけない 変質・破損する原因になります。 禁止	給排気グリルをふさがない 十分な換気ができません。 禁止

お手入れのしかた

〈お客さま〉

⚠警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る

感電やけがをすることがあります。

⚠注意

お手入れの際は手袋を着用する

端面などでけがをする恐れがあります。

■フィルター（給気口側）をご使用の場合は、清掃を行ってください。
給気口側に取り付けられた市販品のフィルターは種類・仕様により清掃方法も異なりますので注意してください。
● フィルターの目づまりは風量の極端な減少の原因になります。

■モータの軸受けには、両シールドの玉軸受が使用してありますので、注油の必要はありませんが、グリースの寿命は、約１万時間ですので使用状況（異常音・風量減少など）によっては、点検のうえモータの交換が必要です。

■製品を長期間安心してご使用頂くために、定期点検（ねじのゆるみ、錆、腐食の発生のないこと）を行ってください。

仕　様

形　名	羽根径 (cm)	接続ダクト寸法 (mm)	電　源 (相･V)	極数	公称出力 (W)	最大風量 (m^3/h)		最大電流 (A)		消費電力 (W)		静圧 (Pa)		騒　音 (dB)				起動電流 (A)		質量 (kg)
														側　面		吸込側				
						50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
DVS-40SY2	18	φ150	単相100V	4	20	460	465	0.64	0.74	60	72	59	69	28.0	29.5	38.0	38.0	0.98	1.0	10.5
DVS-50SY2	18	φ200		4	45	700	650	1.20	1.30	98	119	98	157	28.5	30.0	39.0	39.5	1.8	1.7	13.0
DVS-100SY2	22	φ200		4	200	1240	1390	2.45	3.40	195	280	127	245	35.5	37.5	46.5	47.5	6.5	5.9	20.0
DVS-150SY2	25	φ250		4	300	1800	2000	4.80	5.90	400	515	137	265	41.0	42.0	52.0	53.0	9.7	9.2	22.5
DVS-150TX	25	φ250	三相200V	4	300	1800	2000	2.10	2.40	380	530	137	265	43.0	43.0	58.0	58.0	7.5	6.6	20.0
DVS-210TX	25	φ300		4	750	2600	2850	2.60	3.40	510	740	191	353	44.0	44.0	63.0	63.0	11.3	9.8	23.0
DVS-300TX	28	□300		4	1500	3600	4200	4.20	5.50	900	1370	200	460	49.0	50.5	68.0	70.0	27.0	25.0	39.0
DVS-550TX	28×2	300×750		4	3000	7000	8000	7.80	10.00	1720	2620	200	460	49.0	50.5	68.0	70.0	54.0	50.0	84.0

注記）1. 最大風量はチャンバー法（JIS C9603）により測定した値です。
2. 最大電流は最大風量時の測定値です。
3. 消費電力は商品単体で、開放状態での値です。
4. 騒音は上記静圧時における値です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません、また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

修理を依頼される前に

■下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検
スイッチを入れても換気しない	●ブレーカーが切れていたり停電ではありませんか。
換気量が不足する	●屋外フードにほこりが堆積していませんか。
運転中に異常音や振動がする	●給排気グリルが確実に取り付けられていますか。
給排気グリルがはずれかけている（傾いている）	●確実に取り付けてください。

■上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。（有料）
★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理･お取り扱い･お手入れについてご不明な点は **お買い上げの販売店へご相談ください。**
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-00**

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038**（通話料：有料）

FAX　045-461-3493（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは　出張修理

● ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	東芝ストレートダクトファン
形　名	DVS-40SY2、50SY2、100SY2、150SY2 DVS-150TX、210TX、300TX、550TX
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 電話（　）　－

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料、部品代、出張料等で構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※お買上げ店名を記入されておくと便利です。

■補修用性能部品の保有期間
● 換気扇の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際、このようなことはありませんか?

- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅い、または不規則。
- ●こげ臭いにおいがする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社
〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

ET9X324501